

平成 27 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		事業コード 120104		防犯灯補助事業		担当部課	部課コード	120100	TEL	2998-9171	
開始年度		昭和 53 年度		→		終了年度		平成 年度			
						建設総務課	グループ	総務			
②事業の概要	事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加						根拠法令			
	分野別計画・指針							所沢市防犯灯補助要綱			
	関連・類似事業	道路照明灯維持管理事業									
	総合計画の体系	章	街づくり		節	道路		基本方針	道路環境の整備		
事業開始の背景	防犯灯の設置、維持管理については、従来、全額自治会等の負担であったが、昭和52年度に見直しを行い、所沢市照明灯設置基準と所沢市防犯灯補助要綱を制定し、昭和53年度から、自治会等の負担で設置、維持管理する防犯灯に対して、市から補助を行うこととした。										
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)										
	自治会等が設置、維持管理する防犯灯に対し、新設費(交換を含む)及び維持管理費の補助を行うことで、防犯灯の設置が促され、防犯効果の増大が図られるとともに、安全な都市空間を実現することになる。										
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 25 年度	平成 26 年度	12,834	12,894	灯		
	自治会等が設置、維持管理する防犯灯										
事業の具体的な内容及び実施方法											
1 新設費補助金 ①自治会等からの申請書受理、②申請内容の審査及び現地確認、③交付決定の決裁及び交付決定通知書の送付、④設置工事、⑤事業完了実績報告書の受理及び審査、⑥確定通知の決裁及び確定通知書の送付、⑦請求書の受理及び審査、⑧補助金の交付 2 維持管理費補助金 ①自治会等からの申請書及び請求書の受理、②申請内容の審査、③交付決定の決裁及び交付決定通知書の送付、④補助金の交付											
④経費	＜会計種別＞		一般会計		平成 25 年度 (千円)		平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		
	当初予算				44,000		44,000		64,000		
	決算(見込み含む)				43,999		43,977				
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)		(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	※「財源内訳」について平成27年度のみ、当初予算の内訳となっています。				
	正規職員人件費		1.00 人		8,888		1.00 人		8,721		
	事業費合計				52,887		52,698				
	財源内訳		一般財源		52,887		52,698		64,000		
		国・県支出金		0		0					
		その他()		0		0		0			
⑤実績	項目名		項目説明		単位	H 25	H 26	H27見込み	将来目標		
	活動実績	新設費補助金	補助額 補助灯数		千円灯	12,826 365	12,652 364	31,806 943			
		維持管理費補助金	補助額 補助灯数		千円灯	31,173 12,469	31,325 12,530	31,750 12,700			
⑥成果	項目名		項目説明		単位	H 25	H 26	H27目標値	将来目標		
	成果指標	補助金交付額	目標値:当初予算額 実績:補助金交付額		千円	44,000	44,000	64,000			
						43,999	43,977	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る			
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	↑どちらかをチェックしてください			
⑦改善点	平成26年度中に改善した点(どのように改善したか、それにより何がどうなったかを具体的に記載してください)										
各自治会から新設費補助金の申請件数が多いことから、所有灯数に応じた交付決定を行い、地域の偏りを少なくするよう努めた。											
⑧評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了 方向性の		事業実施方法(複数選択可)		理由		市民の犯罪被害の防止を図る必要があることから、引き続き、現行の方法で補助金の交付を行う。			
		次年度予算		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		理由		自治会・町内会等が管理する防犯灯はそのほとんどが蛍光灯であり、消費電力の削減や発電に伴うCO2の排出など環境負荷を抑制する観点では、早期にLED照明灯の導入促進の必要がある。			
⑨環境影響	今年度の状況と今後の方向性										
	市民意識調査において、今の内容よりも充実すべき施策として「防犯」に関する施策の要望度が高くなっているとおり、自治会等からは防犯灯に関する様々な要望が寄せられている。今年度は予算額を2000万円増額し、消費電力の削減及びCO2の発生を抑制するため、LED照明灯の導入促進を図っていく。今後は、補助制度の見直しも視野に入れながら、事業の充実に努めていく必要がある。										
評価日		H27.7.24		評価者職氏名		建設総務課長 佐久間 義次					
⑨環境影響	有益な環境影響	1-1 地球温暖化対策の推進		5-2 安心な都市空間の整備		有害な環境影響を及ぼす原因活動	公用自動車の使用 文書の作成		規制を受ける環境法令等	無	
									緊急事態	無	